

## 「パブリックプレイスとアート」

### アーティスト選定要項及び選定基準 試案

2014年7月22日

京橋創生館 2階 AGC スタジオ



調査研究委員会では、継続的にパブリックアートに関する研究を進め、2009年「パブリックアート再考」をまとめましたが、以降アートを取り巻く状況もさらに変化を呈し、再度見つめなおす必要があると考えられました。そこで「パブリックプレイス」という「場」のポテンシャルや文化性にも注目し、議論の展開を図るものとなりました。

現在は調査研究部会と名を変え、4つのテーマ～バランス創造科学と人の心の科学、エコロジーとアート、地域風土に根差した文化芸術活動、評価・政策システム～を各分科会にて調査研究してきました。その中で今回、評価・政策システム部会にて「アーティスト選定要項及び選定基準 試案」が中間報告として成果を見ましたので、さる7月22日AGCスタジオにて講演及び報告のかたちで公表させていただきました。

進行は、先ず工藤安代氏（NPO法人アート&ソサイエティ研究センター理事）に「パブリック／コミュニティ／アートーアートと場の文化性とは？」をテーマとして講演をいただき、パブリックアートの成り立ちから時代による変遷、今日の課題まで、豊富な資料・

事例・海外事例をもとに、現在の状況を概観しました。

特に公共空間のアメニティに対する意識の向上により、パブリックアートの選定・設置から管理にかけて、市民参加による自主的な「パブリックプレイス」の形成がなされつつあるとの海外事例の紹介には興味深いものがあります。特に作品決定の対話や地域の調

査が行われ、従来のパブリックアートの立ち位置が、場の歴史、場の文化的特色、地域住民の特色、地域の問題／課題を踏まえ、イシュー・スペシフィックやオーディエンス／コミュニティ・スペシフィック（アート）へと展開されていることは、注目に値すると思います。

報告は、講演にて指摘された市民の参加による「パブリックプレイス」形成に必要なと思われる実務的なプロセスに注目し、パブリックアートが市民の資産として認知されるためには、議論の透明性を確保することが必要と考え、アート選定に係わる試案を提案しました。内容は会員に先に配布した「アーティスト選定要項及び選定基準 試案」小冊子をテキストに、その内容に沿って行いました。

試案はパブリックプレイス整備を目的とするパブリックアート設置に至るプロセスを検証し、それに係わる人材～発起人、支援者、アドミニストレーター（管理者）、コーディネーター、アーティスト、アドバイザー～の役割を明確化することから始まり、要項の作成から、公開のコンペやプロポーザルによる人材選定、評価の公表、その後のフォローに至るプロセスを概論しました。

トークにおける討議では、建築家からはコーディネーターやアーティストがプロジェクトに参加するタイミングの見極めの困難さが指摘される一方、アーティストの立場からはプロジェクトへの早期の参画を望む意見が出されました。今回の試案が現実性を帯びるためには実践的な展開の必要性が痛感されます。aacaは建築・美術・工芸などに係わる日本唯一の団体です。環境整備に係わるアドバイザー（評価機関）として活動の展開を図ることも必要ではないかと思ひます。

調査研究部会ではトークの継続を予定しています。また、先にあげたテーマの4分科会は鋭意研究活動中です。ともに研究に参画し、議論を展開してくださる方々を募っています。皆様の参加をお待ちしています。

**モダン・パブリックアートの誕生** —モダン抽象彫刻作品—

1960s～70s中頃  
—欧米—

都市の「アートコレクション」として  
行われる「パブリックアート政策のはじまり」

美術館空間  
↓  
都市空間

パブリックアート事業の見直し

アーティストの選定委員に市民が参加する方向へ転換

ステイタス	平均人数	投票率
建築/デザイン専門家	1.16	79%
アート（MFA/プロシカ）に無関係である	1.48	85%
建築専門家（プロシカに無関係である）	1.16	65%
デザインユーザー	0.86	34%
コンシリエル/建築顧問	1.36	74%
コミュニティ代表者	1.66	71%
パブリックアート/プロシカ関係者	0.86	19%
その他	0.76	26%

パブリックアート事業の見直し

市民が作品制作のプロセスへの参加

プロセスへの透明化  
・作品内容決定の前に地域住民との対話や地域の調査

1) 場の歴史  
2) 場の文化的な特色  
3) 地域住民の特色  
4) 地域の問題・課題

これまで  
Site Specificity

現在  
Audience/Community Specific

場の物理的特性に合わせる  
空間の規模、素材、気候、使用目的等

地域の歴史や歴史性、文化性を反映する

講演テキスト抜粋